

2009年度 決算説明会



2010年5月28日

関西国際空港株式会社
Kansai International Airport Co., Ltd.

<目 次>

I 2009年度の決算概要 及び関西国際空港の現況と課題 ・・・1～22ページ

II 2009年度の決算 及び2010年度の資金調達 ・・・23～34ページ

I 2009年度の決算概要 及び関西国際空港の現況と課題



1－1. 2009年度 運営概況

	2008年度	2009年度	増減	対前年比
航空機発着回数 (万回)	12.9	10.9	▲2.1	84.1%
航空旅客数 (万人)	1,533.3	1,351.5	▲181.8	88.1%
国際線	1,011.1	957.1	▲54.0	94.7%
国内線	522.2	394.4	▲127.8	75.5%
貨物量 (万ト)	72.6	63.4	▲9.2	87.3%
給油量 (万kl)	144.9	115.9	▲28.9	80.0%

1-2. 2009年度 経営成績 (連結損益計算書)

- 営業収益は景気低迷や新型インフルエンザの影響による旅客数の減少等により大幅な減収
- 費用削減もあり、経常利益、当期純利益はかろうじて黒字を計上

(単位：億円)	2008年度	2009年度	増減	対前年比	中間決算期 通期見通し
営業収益	992	865	▲127	87.2%	842
航空系	429	374	▲55	87.2%	
非航空系	563	491	▲72	87.2%	
営業費用	814	739	▲75	90.7%	747
営業利益	177	126	▲52	70.9%	95
営業利益率	17.9%	14.5%	▲3.4%	81.0%	11.3%
経常利益	38	9	▲29	24.4%	▲26
当期純損益	▲67	1	69	—	▲27

2-1. 厳しい経営環境を踏まえた増便への取り組み①

(国際競争力強化に向けた緊急対策の実施)

緊急「戦略的な料金施策」

◆今後の需要回復期に向け、当社独自の施策として、以下を2009年10月から、緊急実施。

①新規又は増量増便促進策 (2009年冬期～2010年冬期)

⇒ 新規・増便 (増量) 分は仁川より安い！！

- ・増量割引制度の拡充 (現行30%割引→80%割引へ拡大)
- ・新規就航の場合⇒「促進協」の奨励金 (3年間20% or 1年目20%・2年目10%) と併せ、**100%割引の実施**

②長距離既存便の維持方策 (2009年10月～2010年3月)

1機材において、200トンを超える分の着陸料の単価を、2,090円から1,000円へ値下げ

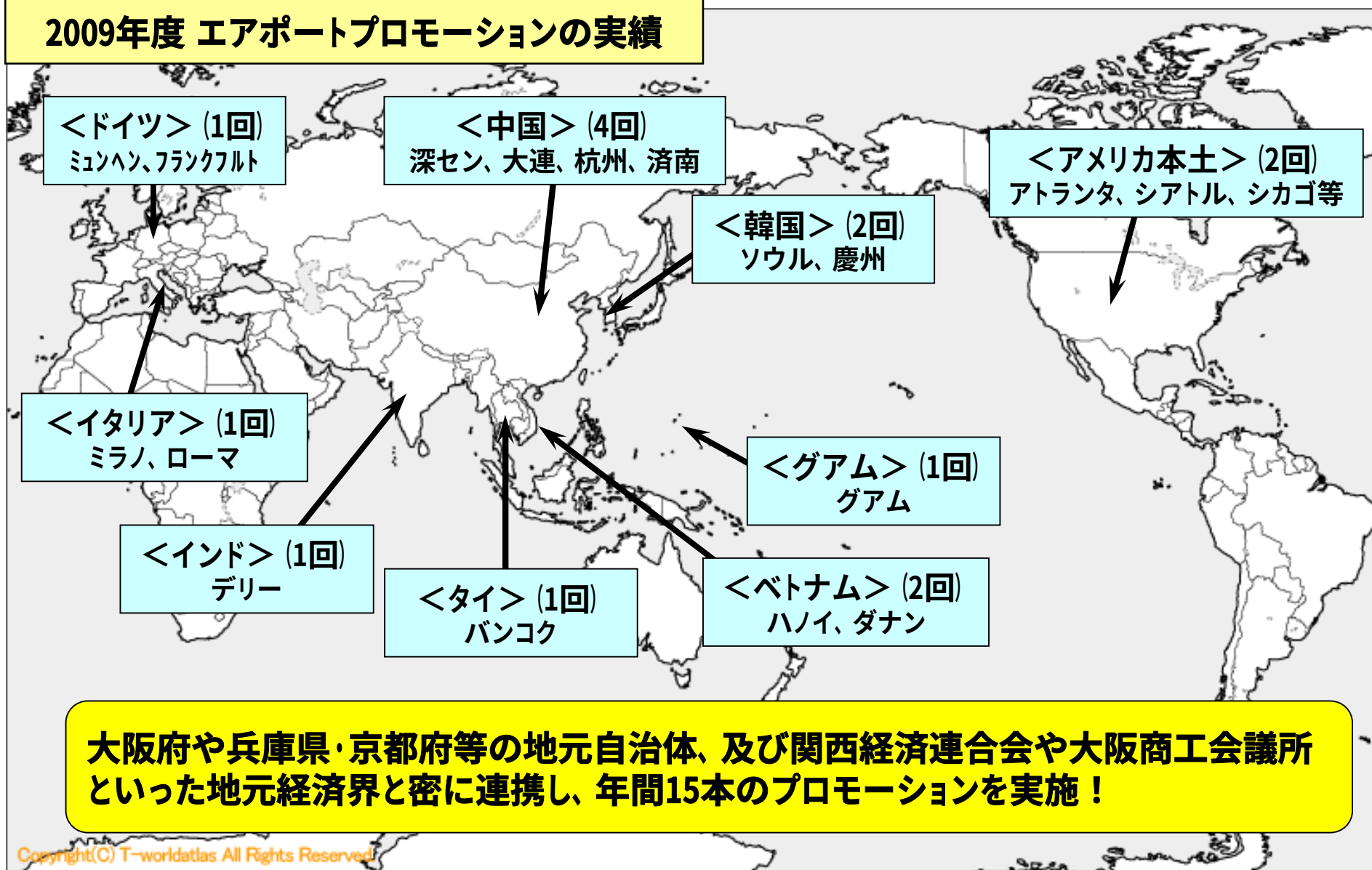
③「関空物流拠点化促進制度」の創設 (2009年10月～2010年3月)

一定規模以上の貨物上屋の新設又は増設に係る賃料を、一定期間において大幅に割引

2-2. 厳しい経営環境を踏まえた増便への取り組み②

(エアポートプロモーションの積極的な実施)

2009年度 エアポートプロモーションの実績



Copyright(C) T-worldatlas All Rights Reserved

2-3. 地元と一体となった利用促進や需要喚起への取り組み

①「関空利用促進アピール」の宣言（2009年10月30日）

- ・2009年9月14日の「関西3空港懇談会」において、世界的な景気後退や新型インフルエンザに伴い航空需要が大きく落ち込んでいることに鑑み、関空の利用率を上げる努力を地元一体となって行うことを合意。
- ・この合意を受け、2009年10月30日に、関西経済界及び自治体が連名で「関空利用促進アピール」を宣言。

<主な内容>

- 職員の海外出張時の際は、関西国際空港の発着便を利用（関係団体、企業等にも要請を行う）する。
- 海外事務所や現地事務所・法人等を活用し、関西の観光魅力・関西国際空港のPRに努める。
- 製品、部品等の航空貨物輸送の際は、深夜便の有効利用等、関西国際空港の発着便を利用する。

②「関西国際空港全体構想促進協議会（通称：促進協）」による活動の実施

- ・地元自治体、地元経済界で構成する「関西国際空港全体構想促進協議会」によって、2期事業の着実な推進に向けた様々な活動を実施。
- ・それらの活動の中でも、関空の利用促進と活性化を目的とした「関空・集客利用促進事業」については、当社をはじめとした関係事業者と連携し、2005年度より実施。

<具体的な活動内容>

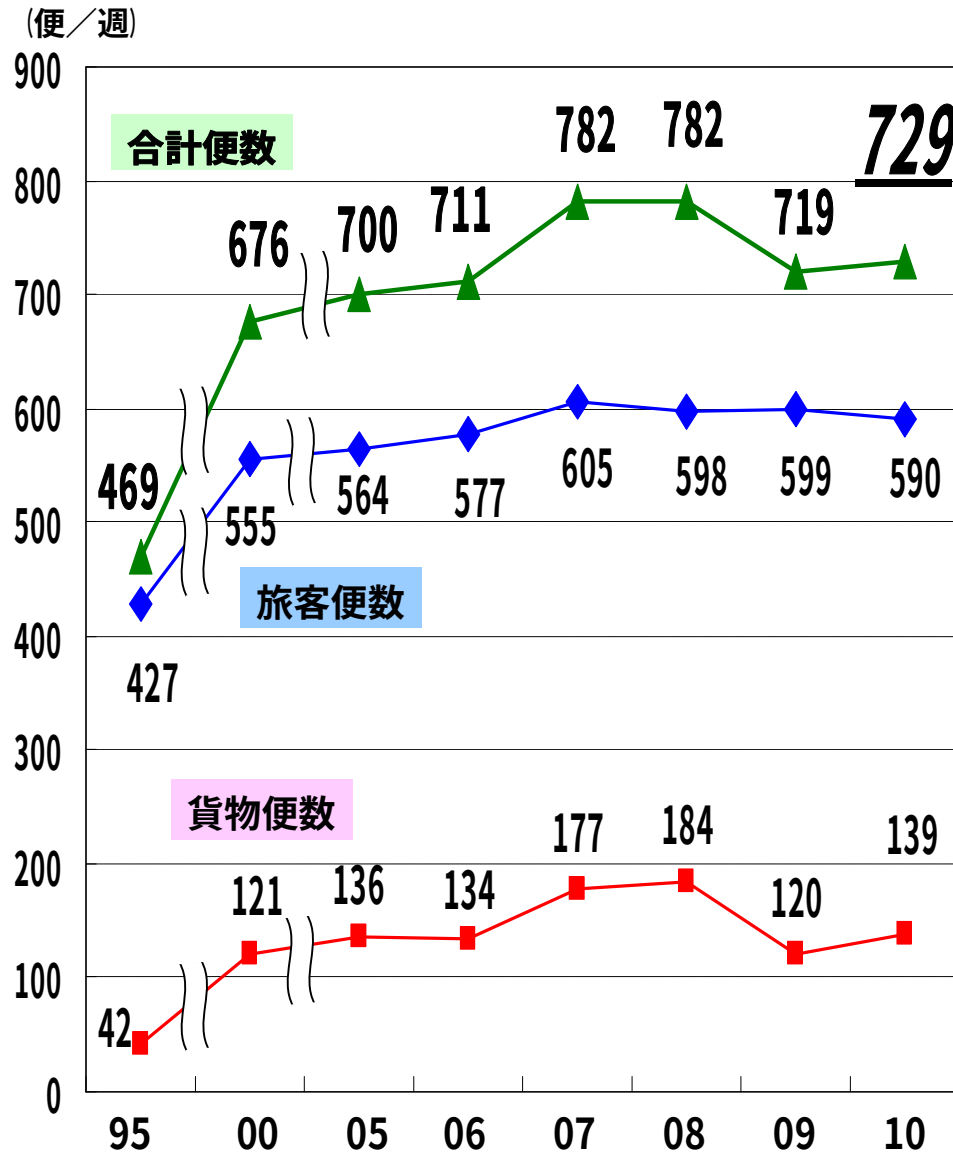
- ☆航空会社への新規就航奨励金
- ☆エアポートプロモーションの実施
2008年度実績：17回（12カ国・地域）
2009年度実績：15回（9カ国・地域）
- ☆旅行商品への支援
「関空10点満点!!」
「関空利用促進ツアーコンペ」



〔関空10点満点パンフレット〕

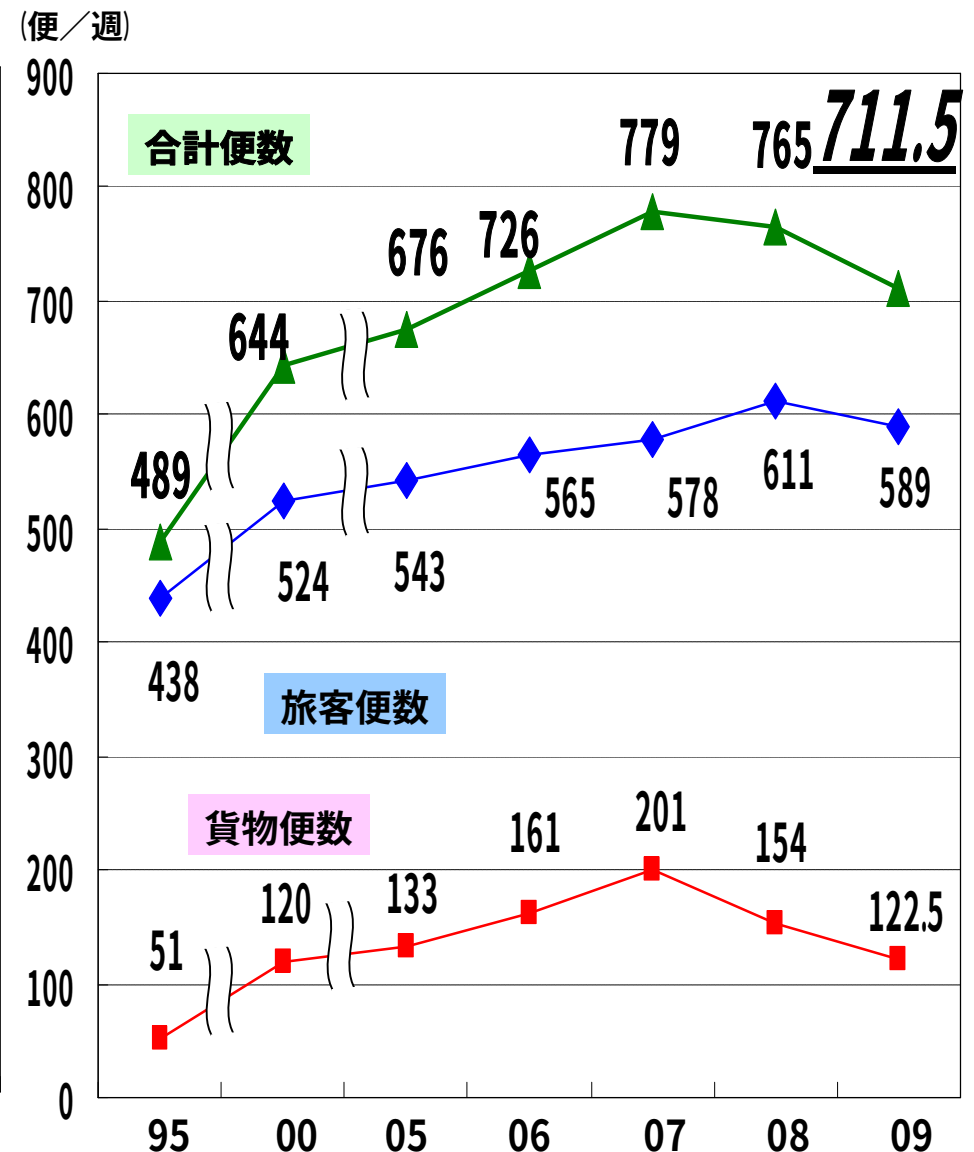
3-1. 関西国際空港の国際線就航便数(定期便)の推移

国際線(夏期スケジュール) 就航便数 推移



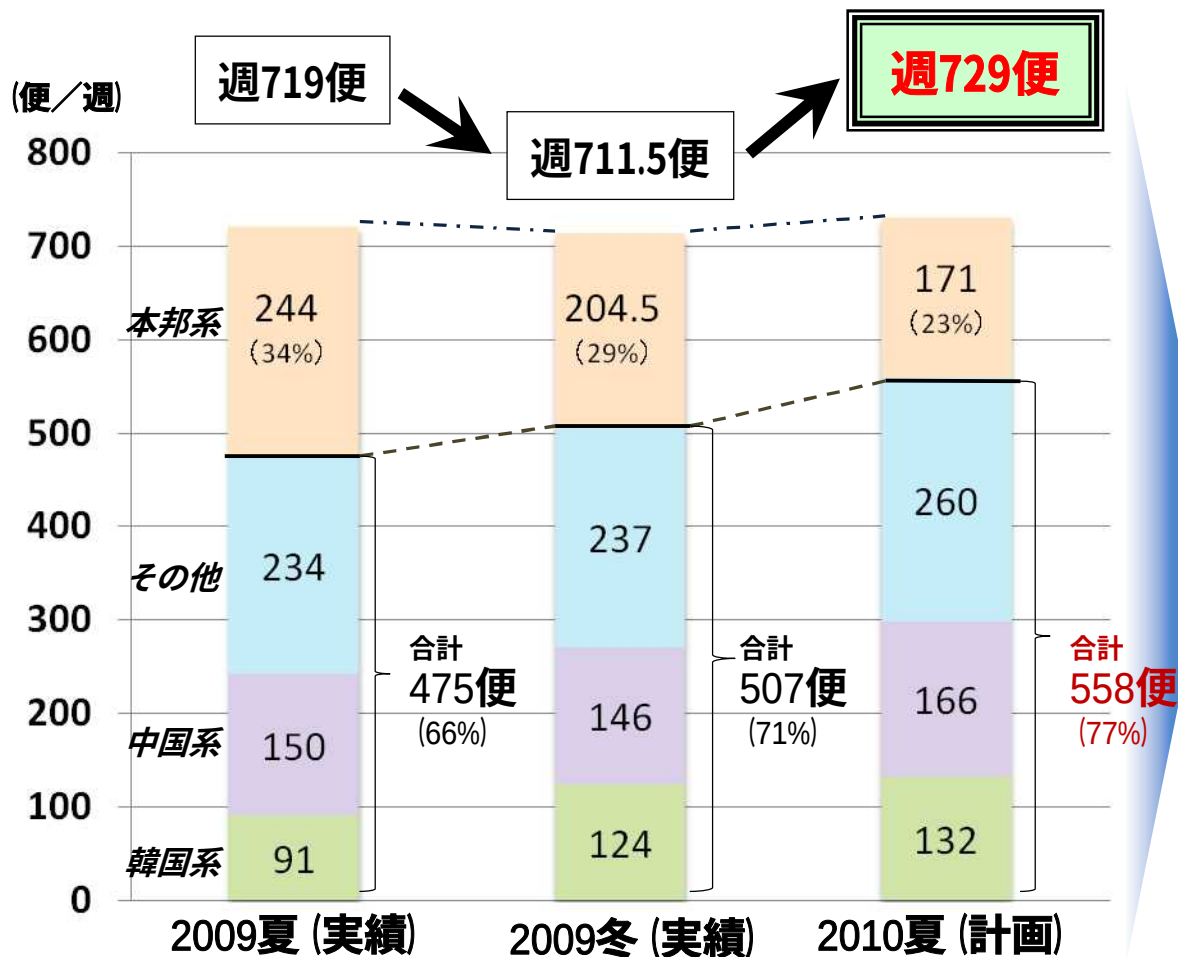
※10夏期スケジュールは計画値

国際線(冬期スケジュール) 就航便数 推移



3-2. 国際線 2010年夏期スケジュールの特徴

アジアの元気なエアラインを中心とした大幅な増便の結果、
全体便数は、昨年の夏期を上回る水準にまで回復！



◆全体便数の状況

[2009年夏] [2010年夏]
週719便 ⇒ 週729便 **10便増**

◆外国航空会社の状況

[2009年夏] [2010年夏]
週475便 ⇒ 週558便 **83便増**

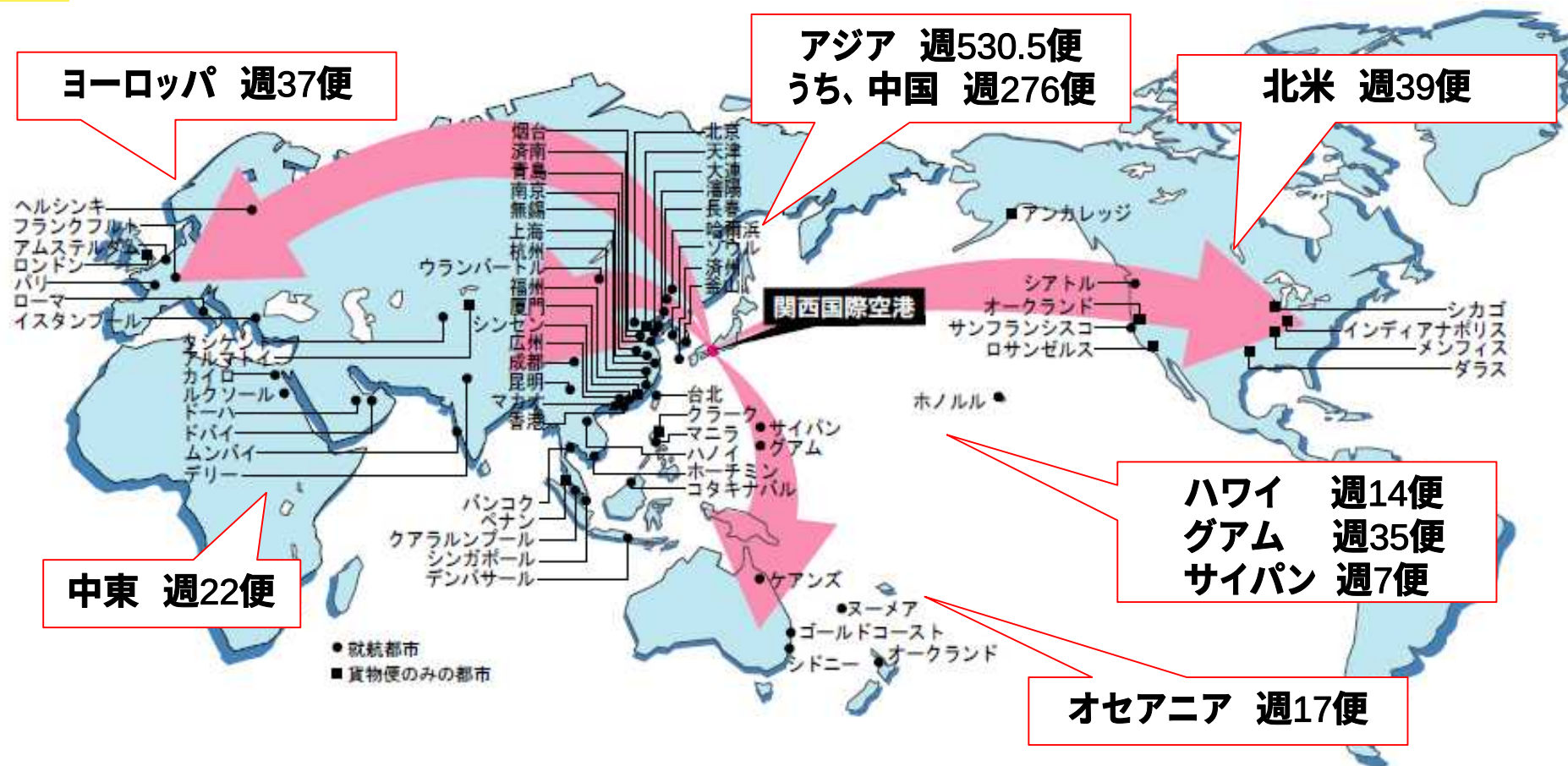
<うち韓国系>
週91便 ⇒ 週132便 **41便増**

<うち中国系>
週150便 ⇒ 週166便 **16便増**

※2009夏期、2009冬期は実績。2010夏期は計画便数。(何れもピーク月の便数(2009夏期:5月、2009冬期:12月、2010夏期:8月))

※中国系については、香港、マカオ含む

3-3. 2010年夏期スケジュールにおける関空の国際線ネットワーク



航空会社数	57社
就航国（地域）数	27ヶ国・地域
就航都市数	68都市
就航便数	729便／週

就航国（地域）

アメリカ、〈グアム・サイパン〉、イギリス、フランス、ドイツ、オランダ、イタリア、フィンランド、トルコ、ウズベキスタン、カザフスタン、UAE、カタール、エジプト、韓国、中国、〈台湾〉、モンゴル、フィリピン、ベトナム、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド

※ 夏期スケジュール期間中のピーク月（8月）の計画です。



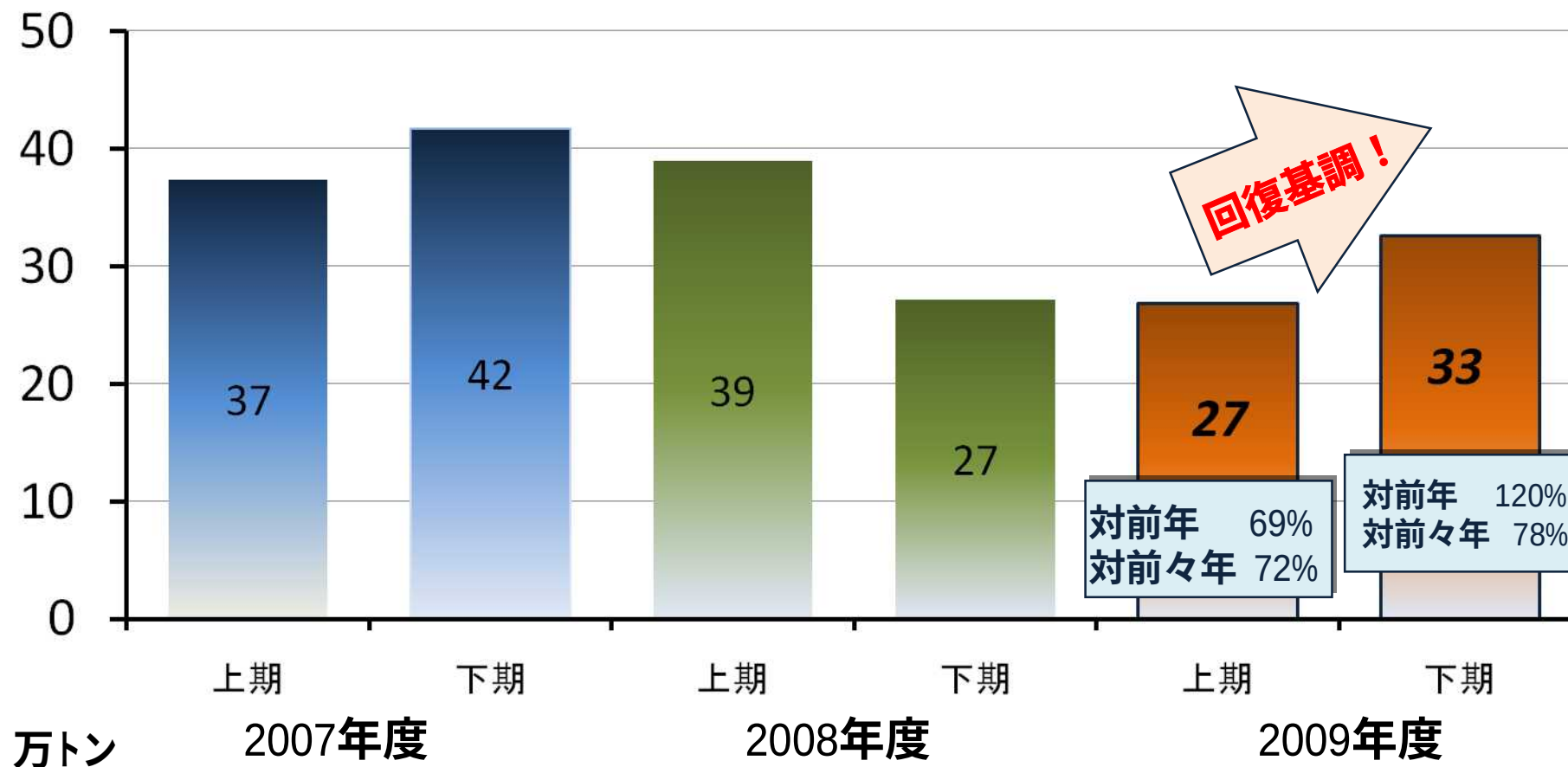
4-1. 更なる成長に向けた今後の取り組み

- ① 国際貨物の回復と、特徴を活かした新たな貨物戦略
- ② 国際旅客の回復と、
インバウンドの更なる増加に向けた取り組み
- ③ 大規模リニューアルによる非航空系収入の拡大

4-2. 国際貨物の回復と特徴を活かした新たな貨物戦略①

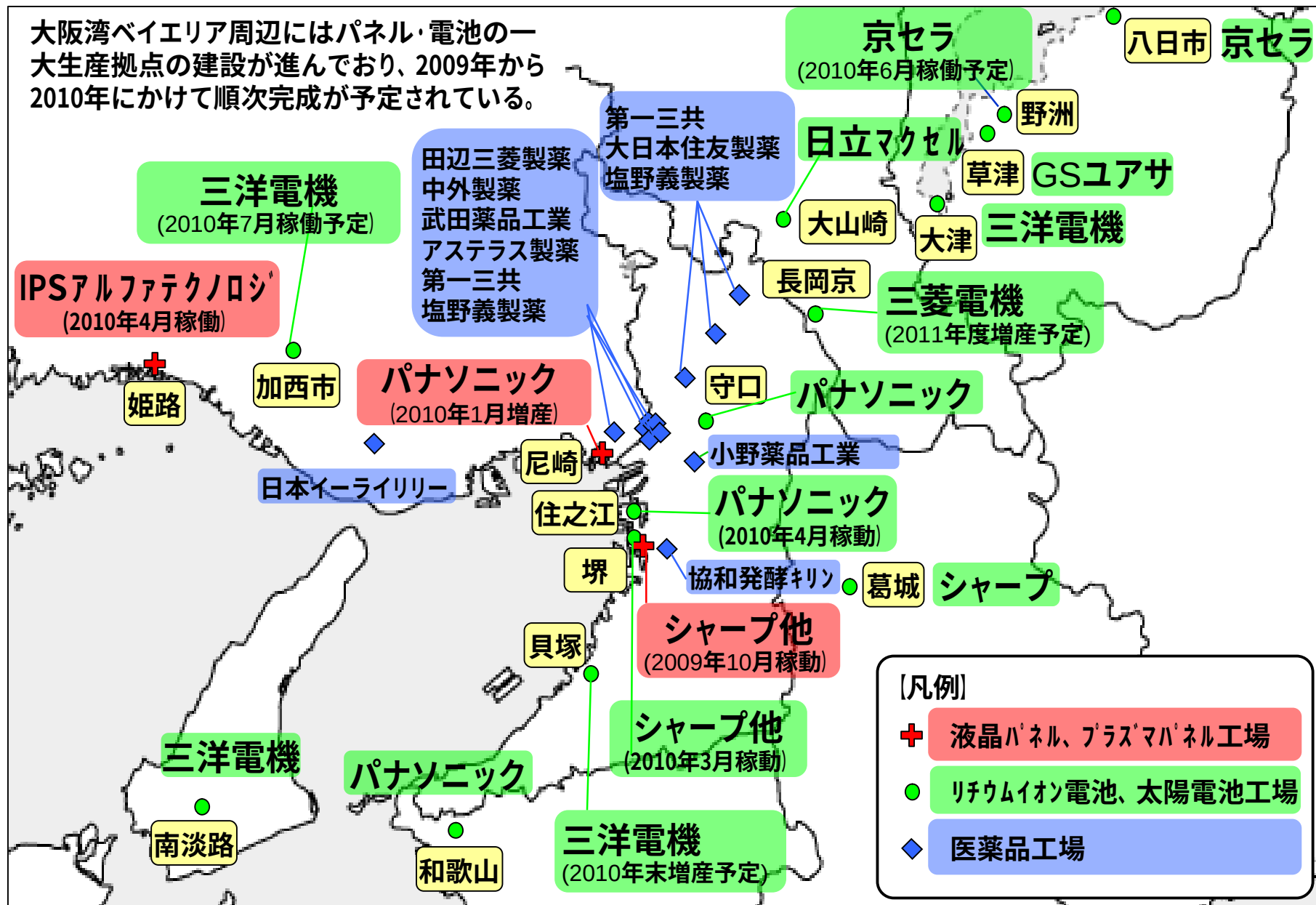
関西国際空港 国際貨物取扱量の推移 (半期別)

➤ 上半期は、2008年秋からの世界同時不況による景気の低迷を受け、前年・前々年を大幅に下回ったものの、下半期から前年・前々年比が改善！



4-3. 国際貨物の回復と特徴を活かした新たな貨物戦略②

大阪湾ベイエリア周辺にはパネル・電池の一大生産拠点の建設が進んでおり、2009年から2010年にかけて順次完成が予定されている。



(注) 各社発表資料等から、当社作成。

4-4. 国際貨物の回復と特徴を活かした新たな貨物戦略③

関西国際空港 国際貨物の輸出入品目 (2009年暦年)

【輸出品目 ベスト5】

(輸出額: 億円)

	品目	輸出額	構成比
1	半導体等電子部品 (電気機器)	9,003	25.0%
2	映像機器 (電気機器)	2,701	7.5%
3	通信機 (電気機器)	2,144	5.9%
4	電気回路等の機器 (電気機器)	1,841	5.1%
5	科学光学機器 (その他)	1,747	4.8%

【輸入品目 ベスト5】

(輸入額: 億円)

	品目	輸入額	構成比
1	医薬品 (化学製品)	4,281	18.3%
2	通信機 (電気機器)	2,642	11.3%
3	半導体等電子部品 (電気機器)	2,311	9.9%
4	有機化合物 (化学製品)	1,764	7.6%
5	科学光学機器 (その他)	1,301	5.6%

出典: 税関発表統計2009年実績より作成。 (注) 億円未満を四捨五入。

4-5. 国際貨物の回復と特徴を活かした新たな貨物戦略④

- 国内外のメーカーの国際的な展開等により、医薬品は、国際航空物流における品目別シェアで、拡大の傾向に。
- 関空の輸入品目でも「医薬品」がトップ。関西には生産・研究拠点多く、今後も伸びが期待。
- 今日の医薬品輸送では、航空輸送によるスピード・信頼性だけでなく、厳密な温度管理を実現する輸送ニーズが高まりを見せている。

空港内では
日本初！

徹底した温度管理が可能となる、医薬品専用の共同定温庫を整備！

医薬品専用共同定温庫の概要

- 床面積 約750m²
- 最大取扱量 約800t/月
- 運用開始 2010年9月30日(予定)
- 特徴
 - ・共同上屋方式を採用し、どなたでも利用可能。
 - ・駐機場に近接し、速やかな輸送が可能。
 - ・屋根に太陽光パネルを設置し、環境に配慮。

【位置図(国際貨物地区内)】



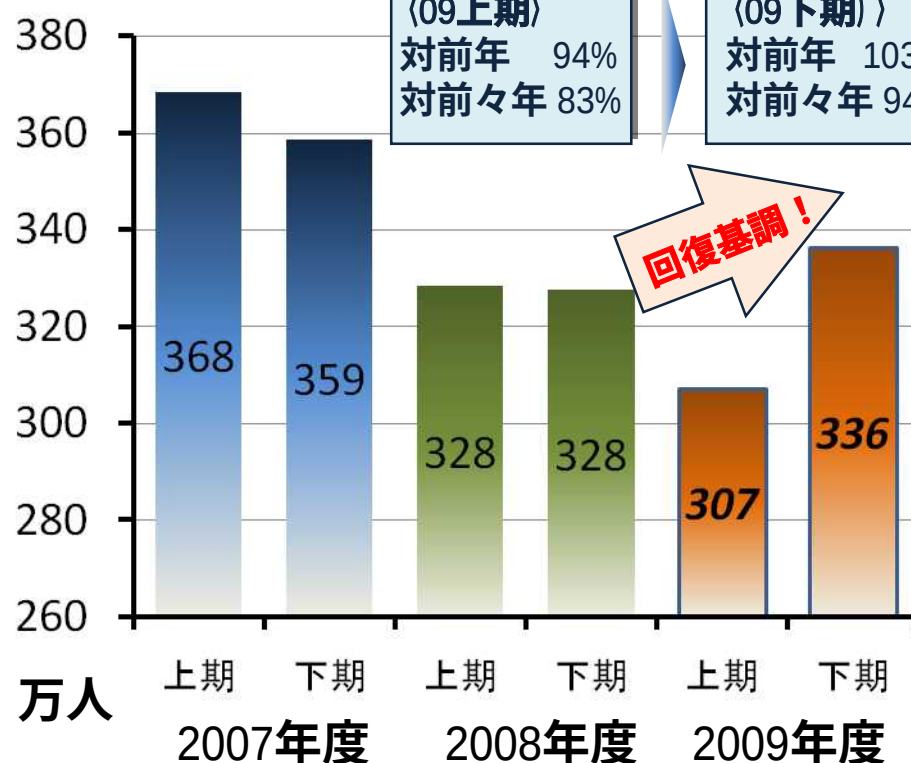
医薬品輸送の
オンリーワン空港として
空港機能の
更なる価値向上を
目指す！

4-6. 国際旅客の回復とインバウンドの更なる増加に向けた取り組み①

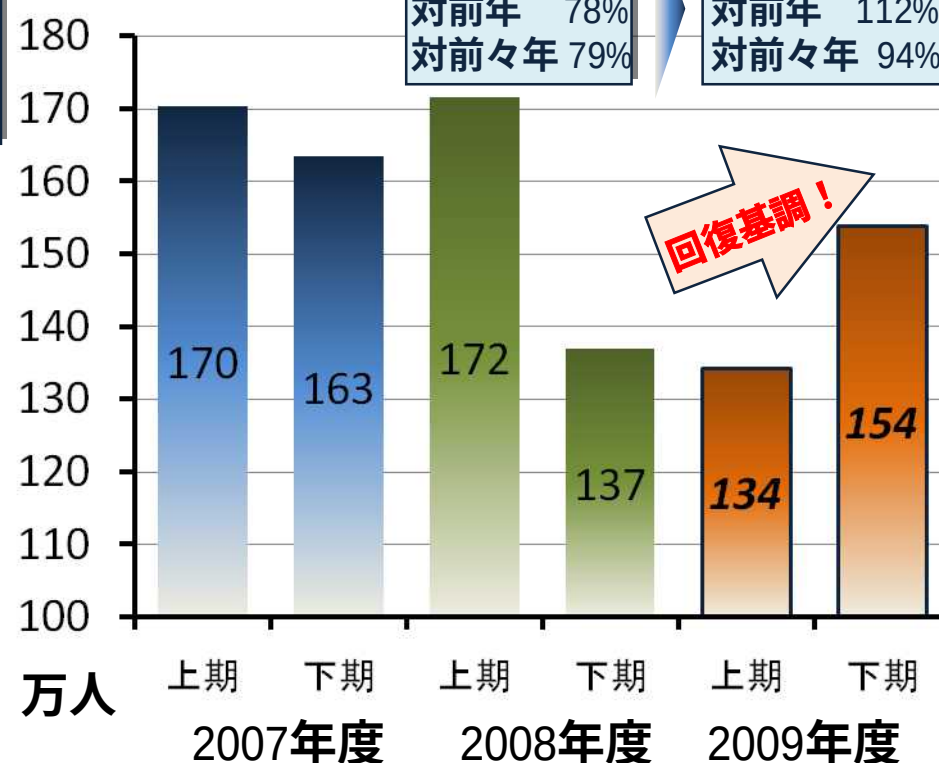
関西国際空港 国際線旅客数の推移 (日本人・外国人別、半期別)

- 上半期は、新型インフルエンザの影響等により、前年・前々年を大幅に下回ったものの、下半期から前年・前々年比が大幅に改善！
- 特に外国人旅客の2010年2・3月は過去最高 (同月比較) と著しく回復！

日本人旅客



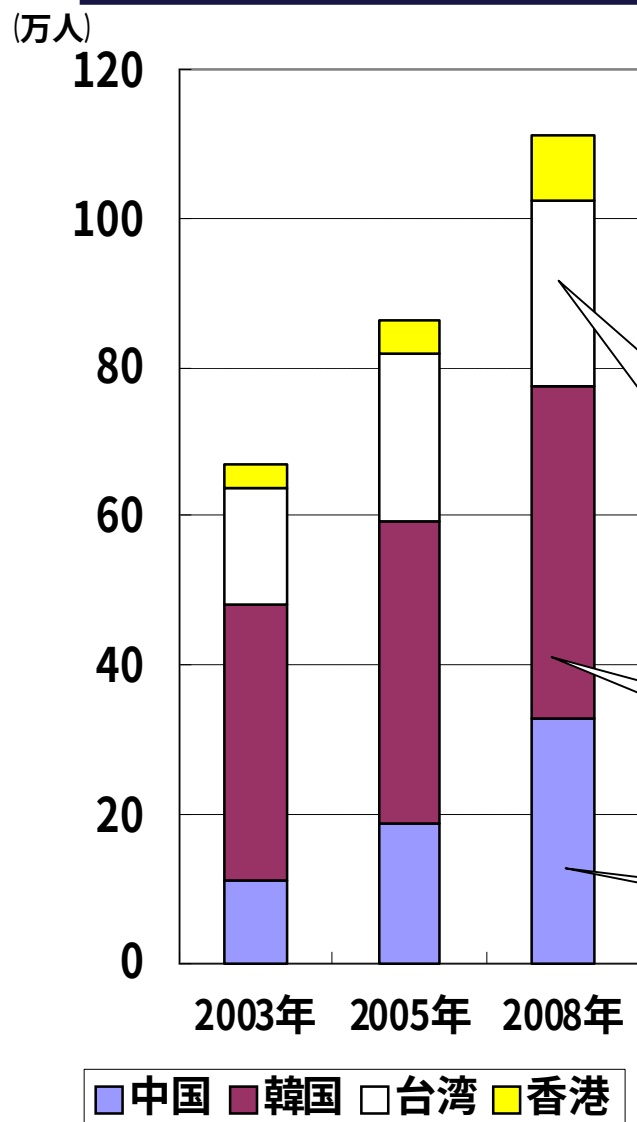
外国人旅客



(注) 通過旅客は除く。

4-7. 国際旅客の回復とインバウンドの更なる増加に向けた取り組み②

関空における主要国の
国籍別入国者数の推移

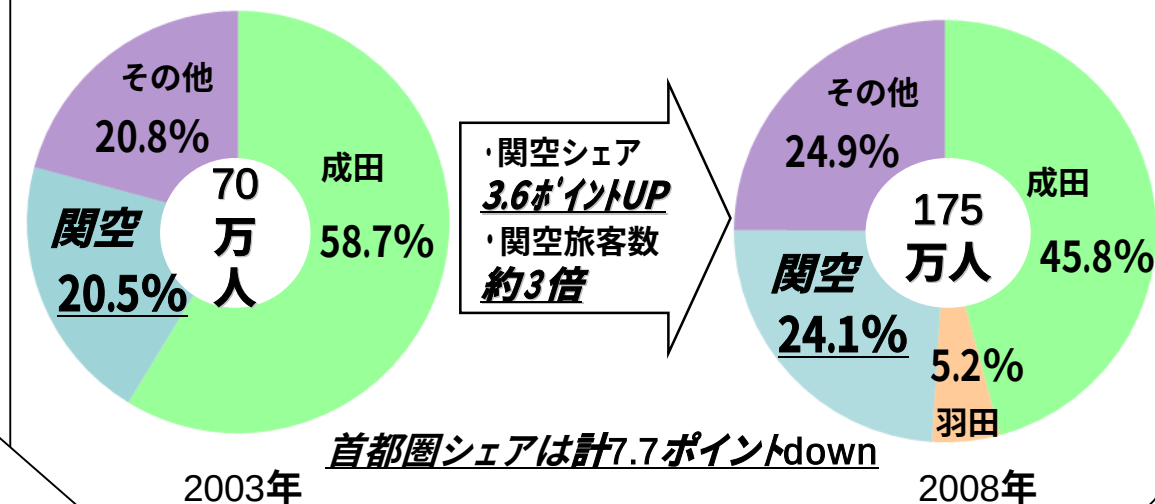


[台湾] 約25万人
(対'03年伸び率 161%)

[韓国] 約45万人
(対'03年伸び率 121%)

[中国] 約33万人
(対'03年伸び率 290%)

訪日中国人の空港別シェア



[参考]

訪日中国人の推移及び予測
2003年実績 70万人
2008年実績 175万人
2020年目標 600万人

※2020年の予測値は観光庁資料による

今後も中国人観光客は増加の一途。
その受け入れに向け、
関空は必要不可欠！

(注1) 法務省出入国管理統計をもとに、当社作成。

(注2) 正規入国者(再入国外国人も含む)のみで協定該当者、特例上陸者は含まない。

4-8. 国際旅客の回復とインバウンドの更なる増加に向けた取り組み③

■魅力的な観光資源が、関空から100km圏内に集中

多数の世界遺産（日本の世界遺産14ヶ所中の5ヶ所が近畿圏内）
国宝の約6割・重要文化財の約5割が所在



4-9. 大規模リニューアルによる非航空系収入の拡大

国際線出国エリアの大規模リニューアル実施！

2010年3月15日「KIXエアサイドアベニュー」グランドオープン
～出国エリアを、よりオシャレに、より楽しく、より快適に。～

コンセプト

関西ならではの
空港体験の創出

主な ポイント

①物販店・免税店等を大幅に増加

- ◇面積を1.5倍とし、29店舗・施設から、41店舗・施設へ拡大！
- ◇航空機を眺められるレストランやラウンジを新設！
- ◇国内空港への初出店が3店舗！

[ディーゼル (衣料)、アビステ (ジュエリー)、スワロフスキー (ジュエリー)]

②サービス施設の充実

- ◇更なる利便性向上に向け、案内カウンターやキッズルーム、仮眠室も新設！

昨年12月に先行オープンした中央部分。
キッズルームや薬局等を設置し、
深夜24時まで営業。



航空機を眺められる
カウンター付のレストラン



大型チェアで寛げるスペース
「KIXリフレッシュキャビン」

5. 2010年度の見通し(2010年度の事業計画と業績見通し)

◇発着回数

- ・外国航空会社の増便や景気回復による貨物需要の高まり等により、**国際線は前年に比べ、成長の見込!**

◇旅客数

- ・国際線は増加見込みであるが、国内線の路線再編や全体的な機材小型化の影響を勘案し、**若干の減少。**

◇業績見通し

- ・国際線出国エリアのリニューアル等、非航空系収入の拡大にも注力することで、“**増収増益**”を計画!

【2009年度実績】

発着回数	国際線	7.4万回
	国内線	3.5万回
	計	10.9万回
旅客数	国際線	957万人
	国内線	394万人
	計	1,352万人

	単体	連結
営業収益	849億円	865億円
営業利益	118億円	126億円
経常利益	4億円	9億円

【2010年度目標】

発着回数	国際線	7.6万回 (103%)
	国内線	3.3万回 (94%)
	計	10.9万回 (100%)
旅客数	国際線	954万人 (100%)
	国内線	377万人 (96%)
	計	1,330万人 (98%)

	単体		連結	
営業収益	857億円	(+8億)	866億円	(+1億)
営業利益	137億円	(+19億)	145億円	(+19億)
経常利益	11億円	(+7億)	17億円	(+8億)

6-1. 関西国際空港の目指す空港像

関空の目指す空港像

アジアと関西を結ぶゲートウェイ

- 企業のグローバル化、観光ビッグバンに応える関西のゲートウェイ
- 東アジアを中心に細やかな利便性の高いネットワークを備えた空港
- 国内線と国際線の乗り継ぎに優れ、首都圏需要も補完する国内基幹空港
- ローコストキャリア、ビジネスジェット、リージョナルジェットなど多様化するニーズに対応できる空港

日本唯一の「国際貨物ハブ空港」

- アジアを中心に充実した貨物ネットワークを備えた西日本そしてアジアのゲートウェイ
- 複数滑走路と完全24時間化によるタイム・オン・デマンドを実現した空港
- アジアと欧米を繋ぐ中継拠点
- 企業ロジスティクスの多様化に応える多機能集約型物流拠点

良質な空港アクセスの提供

- 伊丹空港との乗り継ぎなど、リムジンバス、鉄道（JR・南海）、高速道路などの空港アクセスの利便性向上

6-2. 目指す空港像の実現に向けた課題解決の動き

(国土交通省・成長戦略会議の最終報告、2010年5月17日発表)

バランスシート改善による関空の積極的強化

関空における 現状の課題・問題点

バランスシートの抜本的改善

本来の優位性を活かした
競争力強化策

伊丹の活用のあり方

諸課題の
抜本的解決を図り、
関空を首都圏空港と
並ぶ国際拠点空港に

- ・関空と伊丹の事業価値の最大化と
キャッシュ化による関空のバランスシート改善
(持株会社設立、コンセッション契約等)
- ・バランスシート改善で実現する、戦略的料金
引下げやLCCターミナルの整備等による
アジア地域での関空の地位確立
- ・民間の経営判断による伊丹の具体的活用
方策の決定(廃港、関空への一元化等)
- ・国と地元の連携による大阪のビジネス拠点
からの鉄道アクセス改善に向けた調査・検討

[工程表(最速想定案)]

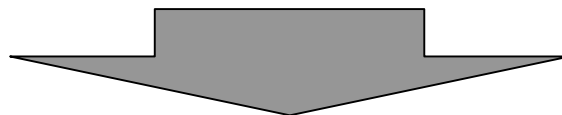
	早期実施 (H22年度から取り組むもの)	2～3年後の実現を 目指すもの	将来的な検討の方向性
関空の バランスシート 改善	・関空・伊丹の持株会社方式による経営統合 に係る準備(関係者調整、予算要求等) ・コンセッション契約についての検討	・持株会社方式による経営統合実現 ・コンセッション契約の具体的なあり方の検討	・関空・伊丹の価値を最大化する民間の経営 提案を募集・選択
関空の 国際拠点空港 としての再生	・国際競争力強化策の検討、準備 (LCC誘致、貨物ハブ強化策等)	・国際競争力強化策を引き続き推進	・健全なバランスシート構築を実現し、積極的な 空港戦略を実行することで、アジアの貨物ハブ やインバウンド受入拠点としての地位確立
伊丹の 一層の活用	・関空の補完的空港としての伊丹の活用策の 検討	・関空の補完的空港としての伊丹の 活用策の準備・推進	・関空の補完的空港として活用しつつ、リニア整備 等の状況変化も見通し、廃港や関空への一元 化の検討等、具体的な活用方策を検討

7. 最後に ～当社事業の発展性及び確実性～

新たな料金施策の導入や施設のリニューアル等、積極的な経営活動により、厳しい経営環境となった2009年度においても、当社は黒字を達成。

アジアの経済成長や渡航に係る規制緩和、政府による誘致施策等により、今後も訪日外国人は増加傾向。航空産業の持続的な成長は間違いの無いところ。

国土交通省・成長戦略会議での議論により、国が初めて、当社のバランスシートの改善に言及。今後、国による取り組みとして、当社事業の成長・発展に向けた、具体的な有り方の検討も表明。



**当社事業は高い発展性を有しており、
当社に対する国の支援姿勢についても、強固なものが継続！**

Ⅱ 2009年度の決算 及び2010年度の資金調達



1. 2009年度 運営概況 半期ごとの状況

	2008 年度	2009年度					
		上半期		下半期		合計	
		前年比		前年比		前年比	
航空機発着回数 (万回)	12.9	5.6	82.3%	5.3	86.8%	10.9	84.1%
国際線	7.9	3.7	90.8%	3.7	95.6%	7.4	93.1%
旅客便	6.2	3.1	98.8%	3.0	97.9%	6.1	98.3%
貨物便	1.6	0.6	64.8%	0.6	84.4%	1.2	73.5%
国内線	5.0	1.9	69.7%	1.6	71.3%	3.5	69.7%
航空旅客数 (万人)	1,533	670	81.6%	682	95.7%	1,352	88.1%
国際線	1,011	454	86.1%	503	104.1%	957	94.7%
国内線	522	216	73.5%	179	78.1%	394	75.5%
貨物量 (万トン)	73	29	67.6%	35	115.6%	63	87.3%

2. 2009年度 営業収益の概要

(単位：億円)	2008年度	2009年度	増減	対前年比
航空系	429	374	▲55	87.2%
空港使用料	186	152	▲33	82.0%
施設使用料	243	222	▲22	91.2%
非航空系	563	491	▲72	87.2%
施設使用料	318	259	▲59	81.4%
直営事業	166	154	▲12	92.5%
鉄道事業	46	42	▲4	91.2%
その他	33	36	3	110.4%
合計	992	865	▲127	87.2%

3. 2009年度 経営成績 (連結損益計算書)

(単位：億円)	2008年度	2009年度	前年差	(前年比)
営業収益	992	865	▲ 127	(87.2%)
航空系	429	374	▲ 55	(87.2%)
非航空系	563	491	▲ 72	(87.2%)
営業費用	814	739	▲ 75	(90.7%)
売上原価	88	84	▲ 4	(95.7%)
施設運営等経費	396	350	▲ 47	(88.2%)
減価償却費	330	305	▲ 25	(92.5%)
営業利益	177	126	▲ 52	(70.9%)
営業外収益	93	95	3	(102.8%)
うち政府補給金	90	90	-	(100.0%)
営業外費用	232	212	▲ 20	(91.2%)
うち支払利息	227	209	▲ 18	(92.1%)
経常利益	38	9	▲ 29	(24.4%)
当期純損益	▲ 67	1	69	-

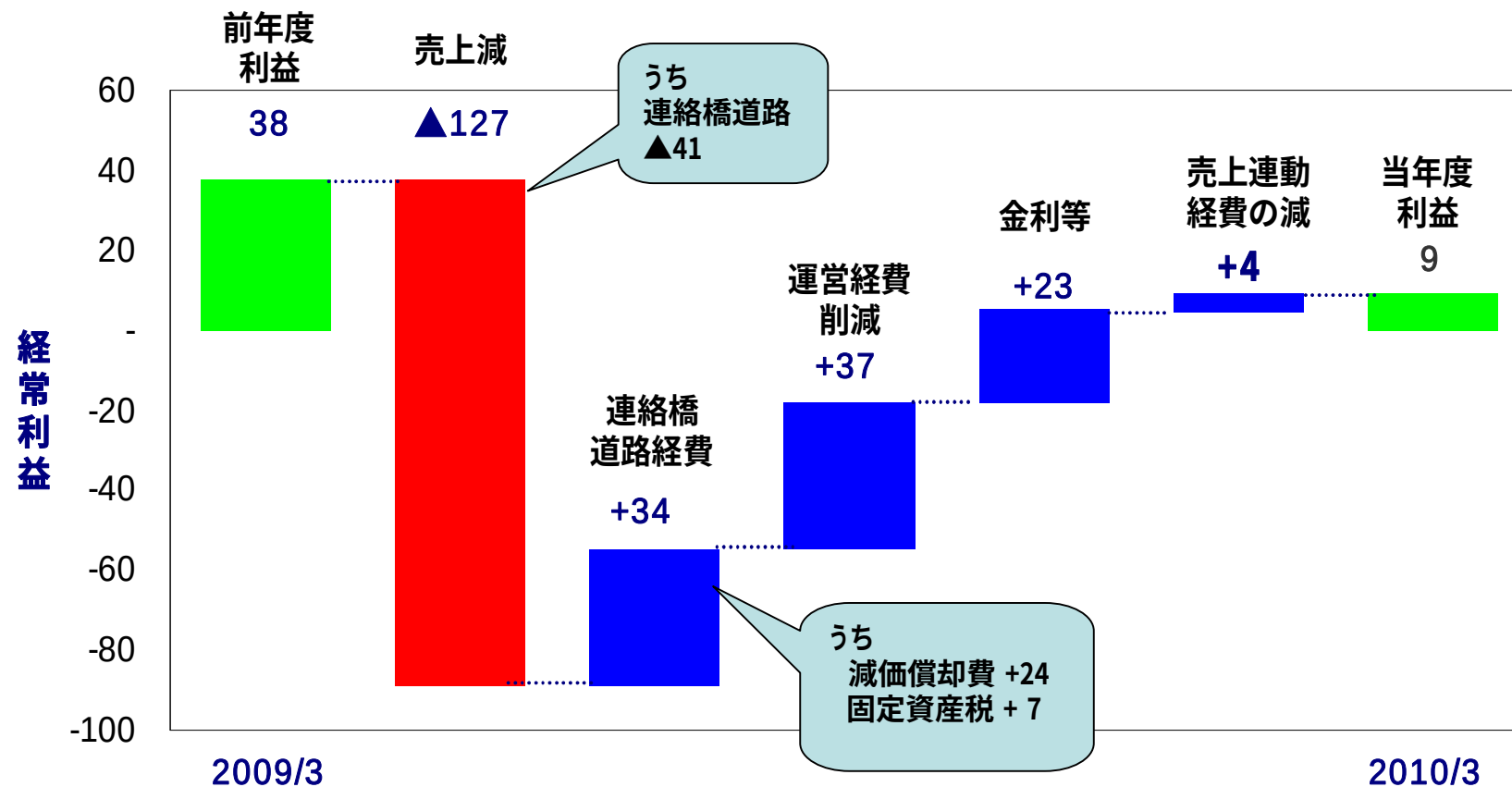
(注1) 億円以下四捨五入。

(注2) 端数処理の関係で合計が一致しない箇所がある。

4. 経常利益の増減分析

- 景気低迷や新型インフルエンザの影響による旅客数の減少等により大幅な減収
- 費用削減もあり、経常利益9億円を計上

(単位:億円)



5. 2009年度 財政状態の概要 (連結貸借対照表)

(単位: 億円)	2008年度	2009年度	差 異
流 動 資 産	292	214	▲78
固 定 資 産	19,524	18,942	▲ 582
うち構築物	2,924	2,437	▲ 487
うち土地	10,548	10,542	▲6
うち建設仮勘定	3,850	3,927	77
資 産 合 計	19,816	19,156	▲ 660
流 動 負 債	1,772	1,661	▲ 111
固 定 負 債	12,065	11,502	▲ 563
負 債 合 計	13,837	13,163	▲ 674
株 主 資 本	5,977	5,990	13
資本金	8,127	8,138	12
利益剰余金	▲ 2,150	▲ 2,149	1
少数株主持分	3	3	1
純 資 産 合 計	5,979	5,993	14
負債・純資産合計	19,816	19,156	▲ 660

(注1) 億円以下四捨五入。

(注2) 端数処理の関係で合計が一致しない箇所がある。

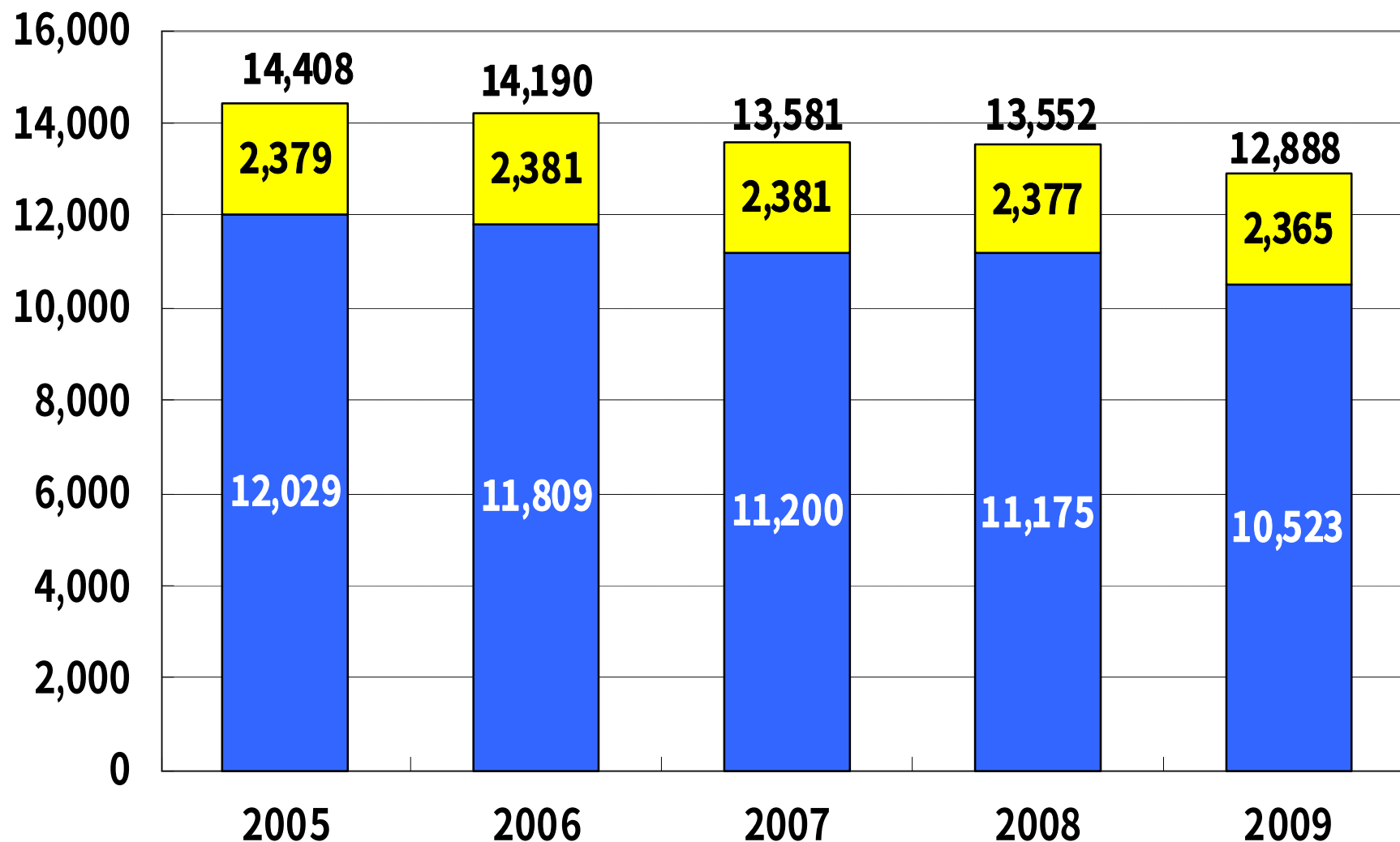


6. キャッシュ・フロー（CF）の概要 ＜連結＞

（単位：億円）	2008年度	2009年度	増減
営業CF	337	308	▲29
投資CF	▲200	267	467
フリーCF	137	575	437
財務CF	▲30	▲652	▲622

7. 債務残高の推移 (有利子・無利子、連結)

(億円)

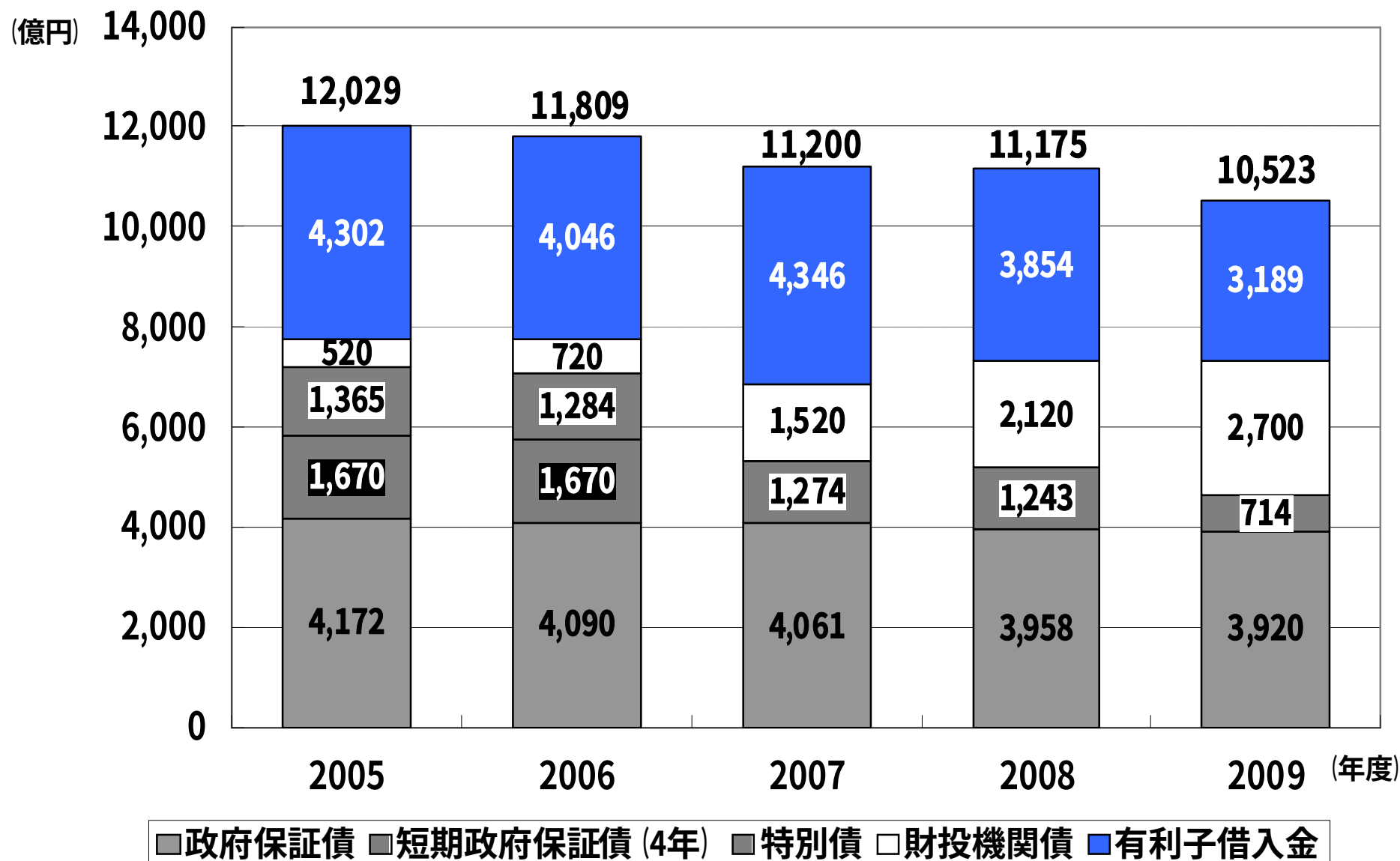


(年度)

(注) 億円未満四捨五入

■ 有利子借入金 ■ 無利子借入金

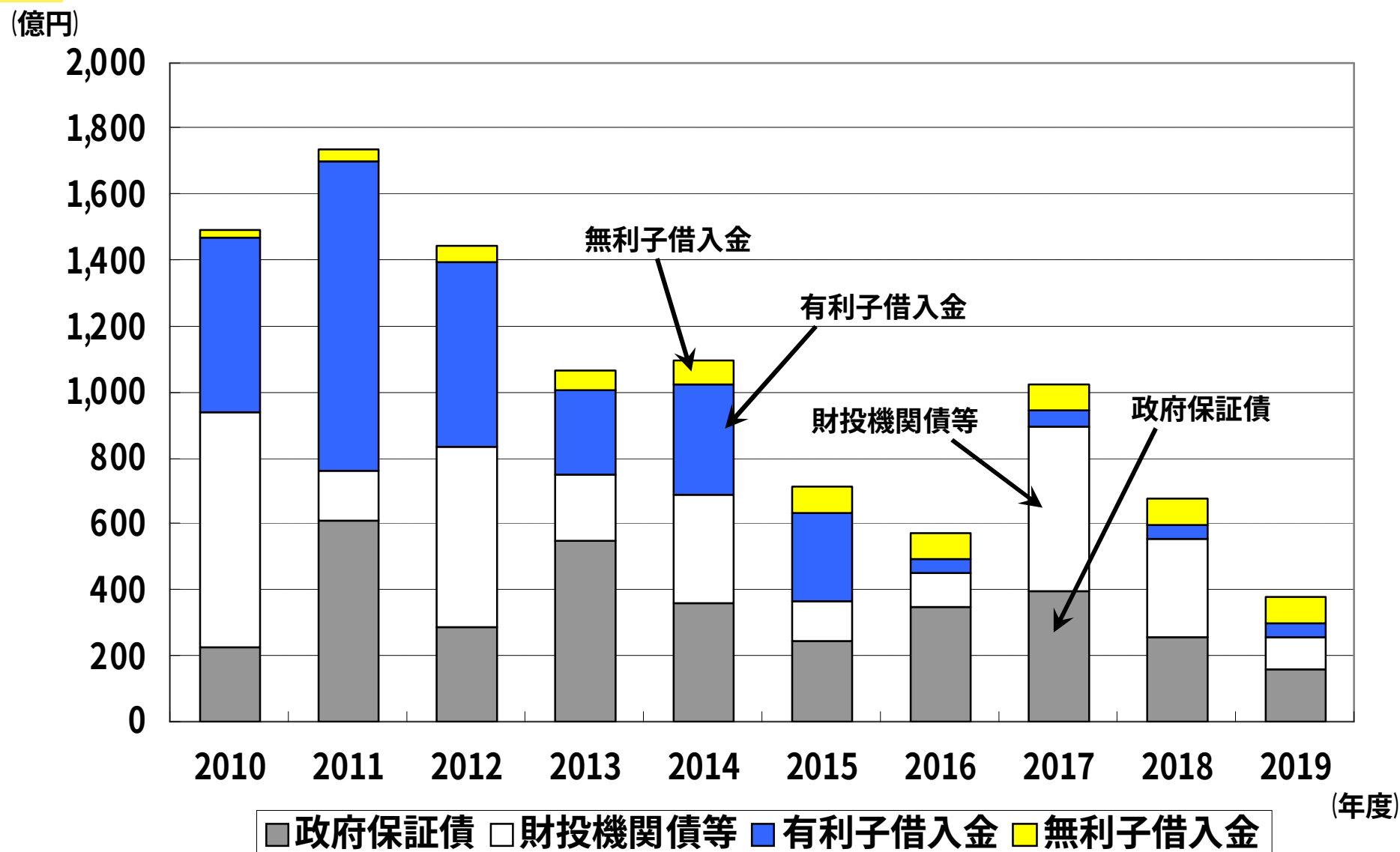
8. 有利子負債残高の推移 (連結)



(注1) 億円未満四捨五入。

(注2) 端数処理の関係で合計が一致しない箇所がある。

9. 今後の債務償還予定 (連結)





10. 2010年度の資金調達予定

○2010年度 事業計画ベース

区分	金額 (億円)
出資金	12
政府補給金	75
政府保証債 (10年)	180
財投機関債等	1,276

(注1) 関西国際空港(株)に係る計数である。

(注2) 億円未満四捨五入。



11. 当社に対する格付け

ムーディーズ・インベスターズ・サービスより取得している格付
長期債務格付け：A a 2

(株) 日本格付研究所より取得している格付
長期優先債務格付け：A A

(株) 格付投資情報センターより取得している格付
発行体格付け：A A-

【本説明会に関するお問い合わせ】

関西国際空港株式会社 財務部 資金グループ

TEL：072-455-2126

FAX：072-455-2044

e-mail：m-matsui@kiac.co.jp

<住所>

〒549-8501

大阪府泉佐野市泉州空港北1番地

関西国際空港会社ビル

<ホームページアドレス>

<http://www.kiac.co.jp/> [関西国際空港(株)]

<http://www.kansai-airport.or.jp/> [関西国際空港]

- 本説明会は、当社の2009年度決算等について投資家の皆様に情報提供することを目的とするもので、債券の募集または売出を意図したものではありません。
- 本説明会資料中にあります、将来の予測や見通し等に関する事項並びに数値は、不確定な要因を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。